

2019年度事業計画及び収支予算を承認 ～第155回通常議員総会～

第155回通常議員総会（出席者106名）を3月25日開催し、「2019年度事業計画（案）並びに収支予算（案）」について審議を行い、全会一致で承認しました。また、平成30年度の新入会員数は212社で、年度末会員数4520社となり、平成17年度から14年連続200社以上の新規加入が達成されました。

2019年度事業計画のポイント（☆重点新規事業・◎新規事業の一部を抜粋）

- 1. 中小企業・小規模事業者の
活力強化と持続的発展の推進**
- ☆消費税率引上げに対応した価格・商品戦略等の経営力強化支援
 - ☆キャッシュレス決済、モバイルPOSレジ、クラウドサービス導入等に関する支援強化
 - ☆「国際見本市・商談会等出展支援事業」の実施
 - ☆働き方改革推進支援
 - ◎ICT・Web 利活用相談窓口の設置による生産性向上・業務効率化支援

- 2. 中心市街地の再生に向けた
まちなかの魅力向上と賑わい再生**
- ☆新潟三越の跡地利用の検討をはじめとする古町地区の活性化に向けた取組の推進
 - ◎「新潟清酒 古町芸妓パッケージ（仮称）」の本格活用

- 3. 地方創生に向けた地域振興事業の推進**
- ☆「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム in 新潟」の開催と要望活動の実施
 - ☆交流・定住人口増加のための産業・観光政策等に関する新たな提言に向けた調査・研究
 - ◎デスティネーションキャンペーン(DC)の実施に向けた支援・協力

4. 提言・要望活動等の推進

- 5. 組織・財政基盤等の強化**
- ◎商工会議所活動の「見える化」の推進

※「2019年度事業計画」、「収支予算」の詳細は、当所ホームページをご覧ください。冊子をご希望の方は、当所総務課までご連絡ください。



2019年度 収支予算書 総括表

2019年4月1日～2020年3月31日

(単位:千円)

会 計 別	2019年度予算額 (A)	2018年度予算額 (B)	比較増・減(▲) (A)-(B)
1 一般会計	283,328	297,397	▲ 14,069
2 中小企業相談事業特別会計	163,093	163,716	▲ 623
3 経営発達支援事業特別会計	5,644	7,401	▲ 1,757
4 まちづくり事業特別会計	12,211	23,423	▲ 11,212
5 会館管理特別会計	17,132	16,496	636
6 生命共済事業特別会計	63,498	62,290	1,208
7 生命共済見舞金特別会計	15,421	14,893	528
8 特定退職金共済事業特別会計	299,340	640,025	▲ 340,685
9 労働保険事務組合特別会計	82,103	80,685	1,418
合 計	941,770	1,306,326	▲ 364,556

★★今月のテーマ 《 労働時間の適正な把握 》 ★★

いよいよスタートしました働き方改革関連の法律。これをきっかけに、労務管理にしっかりと取り組もうとされている事業所様もいらっしゃると思います。

そこで今回は、労務管理の基本中の基本である、労働時間の適正な把握について解説したいと思います。

○労働時間の考え方

- 労働時間とは、使用者の指揮命令下に置かれている時間です。使用者の明示または黙示の指示により、労働者が業務に従事する時間は、労働時間にあたります。
- 例えば、参加することが業務上義務づけられている研修や教育訓練の受講や、使用者の指示により業務に必要な学習等を行っていた時間は、労働時間に該当します。

○労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置

使用者は、労働者の労働日ごとの始業・終業時刻を確認し、適正に記録する必要があります。そのためには、大きく分けて二つの方法があります

① 原則的な方法

- ・使用者が自ら現認することによって確認すること
- ・タイムカード、ICカード、パソコンの使用時間の記録等の客観的な記録を基礎として確認し、適正に記録すること

② 自己申告制で労働時間を把握する方法

- ・自己申告を行う労働者や、労働時間を管理する者に対しても自己申告制の適正な運用について、十分な説明をします。
- ・自己申告により把握した時間と、客観的に把握した時間(例えば、入退室管理、パソコンの使用時間など)に乖離がある場合は実態調査をし、所要の労働時間の補正を行うようにしてください。
- ・使用者は自己申告できる時間の上限を設定するなどして、適正な自己申告を阻害する措置を設けてはいけません。また、36協定の延長時間を超えて労働しているにもかかわらず、記録上これを守っているように見せかけているか、確認する必要があります。

○賃金台帳の適正な調整

使用者は、労働者ごとに、労働日数、労働時間数、休日労働時間数、時間外労働時間数、深夜労働時間数などの事項を、賃金台帳に適正に記入しなければなりません。

○記録の保存

労働時間の記録や賃金台帳などは、3年以上保存しなければいけません。

★まとめ

今年4月1日より、法律で客観的な方法による全労働者の労働時間の把握が義務化されました。法律によらずとも、現状を把握することが、将来進むべき方向を見出すための最初の一步だと思います。労働時間の適正な把握を行うなど、しっかり労務管理に取り組むことで、それぞれの事業所の働き方改革の方向性が見えてくると思います。

働き方改革に取り組んで参りましょう。

☆詳しい内容については、労務管理の専門家にお聞き下さい！新潟県社会保険労務士会ホームページ <http://www.sr-niigata.jp> ☆



坂本 光司／さかもと・こうじ

人を大切にする経営学会会長。1947年生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授、法政大学大学院政策創造研究科（地域づくり大学院）教授、同静岡サテライトキャンパス長などを歴任。国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。著書に『日本でいちばん大切にしたい会社』（あさ出版）、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』（かんき出版）など。

「頑張る社会福祉法人『スマイリング・パーク』」

宮崎県都城市に「スマイリング・パーク」という名の社会福祉法人がある。JR宮崎駅から電車で40分ほどの都城駅で下車し、そこから車で20分ほど走った、のどかな田園風景の広がる地域にある。

同法人の主事業は、大きく三つある。一つ目は、幼保連携型認定こども園の運営などの子育て支援事業。二つ目は、障がい者の就労移行や生活訓練などの障がい者福祉事業。そして三つ目は、特別養護老人ホームや居宅介護支援事業所の運営などの高齢者福祉事業。

設立は、今からちょうど50年前の1969年と比較的古いが、同法人が関係者から注目され、高い評価を受けるようになったのは、現理事長である山田一久氏が施設長に推挙された8年前からである。

正直、その前までは、心地よい風どころか、冷たい風が吹き荒れているような職場であり、ここで取り上げるような職場ではなかったが、山田氏の苦勞と努力で、今日の繁栄をもぎ取ったのである。

山田氏は、元々は東京の大手企業でエンジニアとして活躍していた人であったが、両親の強い要請もあり、故郷である都城市にUターンした。縁あって同法人に入社した、創業家とは縁もゆかりもない中途入社の子会社の一人だった。

前職時代に培った組織運営力やその実行力、さらには仕事に対する使命感や正義感は、入社当時より抜きんで高く、瞬く間に組織のメンバーの信頼を高めていった。

しかしながら、仲間からの期待とは逆に、当時の多くの役員からは出るくいは打たれるではないが、疎んじられ冷遇される日々を送った。だが、山田氏はそんなことにはめげず、日々良いサービスを求める高齢者や障がい者など、顧客のために頑張る仲間と共に身を粉にし、仕事に取り組んだのである。

こうした苦勞と努力が報われ、役員も次第に山田氏の言動を支持していくようになっていった。ついには、多くの役員から推挙され8年前に施設長に、そして4年前には同法人のトップである理事長に就任したのだった。ちなみに、山田氏が施設長になった時の職員数は50人程度で、その後年々増員が続き、現在では250人にまで増え、成長発展を遂げている。さらに、それまで職員の離職率は10%をはるかに超えていたが、今や3%以下になり、残業時間も社会福祉法人としては珍しい実質ゼロ時間である。

こうした企業の存在を知ると、問題の所在は社員ではなく、経営者といわざるを得ない。



佐渡の旬の食材が人気のヘルシーレストラン

佐渡の魚や海藻、野菜や米などをふんだんに使ったヘルシー料理が話題なのが「佐渡自然食レストラン貴支」。古町の西堀ローサ内(イタリア軒側)にあり、買い物への行き帰り客やサラリーマンなどでにぎわっています。そのため定食は日替わり。「毎日のように訪れてくれるお客さまのためにも旬の手作りメニューでもてなしています。実家が佐渡なので食材確保には困りません。」とオーナーの小田貴支さん。

今日の日替わり定食のメイン料理はカラスカレイと豆腐の揚げ出し。新鮮なカラスカレイは揚げることで表面が香ばしくなり、白身は天然の甘みが出ています。カラスカレイと豆腐の揚げ出しに掛けてあるだし汁がうま味を増します。



西堀ローサ内にある創業2年半のレストラン。オーナーの小田貴支さんは古町の割烹などで修業



日替わり定食はメイン料理、小鉢3品、漬物、佐渡産コシヒカリのご飯(発芽玄米あるいは白米)、みそ汁付きで750円。午後3時まではコーヒー無料サービス

小鉢3品の菜の花とシメジの卵とし、ゴマ豆腐、ヒジキは全てオーナーの手作り。ご飯は佐渡産コシヒカリの発芽玄米、みそ汁は小松菜と白菜、みそも佐渡産で、毎日食べても飽きない優しい味わいです。

ほかには、ボリュームがあるのに659円(税別)のヘルシーな和食膳(980円)は、カロリーや塩分などに気を付けている人にうれしい料理です。ちょい飲みセット(850円)や佐渡の地酒3種(金鶴、北雪、真野鶴)飲み比べセット(600円)もあります。月曜はアルコール類10%引き、金曜はデザート類半額も楽しみです

サドシゼンシヨク レストラン タカシ 佐渡自然食レストラン貴支

住所：新潟市中央区西堀前通6-894-1(西堀ローサ内)

TEL：025-378-1763

営業：11：00～20：00

休日：火曜 収容：32席

P：契約駐車場有

HP：<http://sado-restaurant-takashi.com>

業況DIは、一進一退の動き。先行きは懸念材料多く、慎重な見方変わらず

3月の全産業合計の業況DIは、▲16.9と、前月から+1.2ポイントの改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。堅調な民間工事を中心とする建設業に加え、春の観光シーズン到来によりインバウンドを含む観光需要が好調に推移した一方、受注が減少した半導体や産業用機械、自動車関連を中心とする製造業の業況感が悪化した。深刻な人手不足の影響拡大や原材料費の高止まり、根強い消費者の節約志向を指摘する声は依然として多く、中小企業の業況改善に向けた動きは力強さを欠く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲19.1（今月比▲2.2ポイント）と悪化を見込むものの、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。個人消費の拡大やインバウンドを含めた春の観光需要拡大への期待感がうかがえる。他方、人手不足の影響の深刻化や、原材料費の上昇、コスト増加分の価格転嫁遅れ、貿易摩擦の激化、世界経済の動向、消費増税の影響など不透明感が増す中、中小企業においては、先行きへの慎重な姿勢が続く。

詳細は、日商ホームページ（ <https://www.jccci.or.jp/lobo/lobo.html> ）を参照。

▶▶ 日商の動き

第129回通常会員総会

三村会頭「日本の成長する力育てる」



あいさつする三村会頭



全国の会頭・副会頭ら約950人が出席



あいさつする安倍首相

日本商工会議所は3月20日、第129回通常会員総会を都内で開催し、全国381商工会議所から会頭・副会頭ら約950人が出席した。総会の冒頭にあいさつした日本商工会議所の三村明夫会頭は、「海外経済に減速の兆しが見える中で、われわれが取り組むべきは、日本の成長する力を育て、自らの企業の成長力を強化していくこと」と指摘。「来るべき新時代においても、中小企業と地域社会の発展

を通じて、日本経済の持続的な成長を実現していくことが、商工会議所に課された使命」と述べ、さらなる活動強化を呼び掛けた。

また、安倍晋三首相が来賓としてあいさつし、「全国津々浦々の中小・小規模事業者が元気になることなくして、アベノミクスの成功はない」と強調。引き続き、下請け取引の改善、生産性向上、人手不足対策、事業承継などに取り組んでいく考えを示した。